



**AESJ**

日本原子力学会

Atomic Energy Society of Japan

2015年秋の大会

静岡大学静岡キャンパス

**教育委員会セッション : 教育委員会のミッションとその展開に向けて**

# **(1) 教育委員会の ミッション・ステートメント**

**2015年9月9日**

**一般社団法人 日本原子力学会**

**教育委員会**

**委員長 浜崎 学**

# お話しする内容

## ● 教育委員会のミッションとは？

- ✓ H25改訂 日本原子力学会定款
- ✓ 「教育」と「人材育成」
- ✓ 教育委員会のミッション・ステートメント

## ● 教育委員会の体制と活動

- ✓ H27 日本原子力学会 教育委員会体制
- ✓ ミッションを支える小委員会

## ● 福島第一原子力発電所事故の教訓

- ✓ 学会事故調の人材育成への提言

## ● 本日のセッション



# 教育委員会のミッションとは？



**AESJ**

日本原子力学会

Atomic Energy Society of Japan

2015年秋の大会

静岡大学静岡キャンパス

# H25改訂 日本原子力学会定款(抜粋)

(目的)

第3条 本会は、公衆の安全をすべてに優先させて、原子力および放射線の平和利用に関する学術および技術の進歩をはかり、その成果の活用と普及を進め、もって環境の保全と社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う  
～ 略 ～

(5) 学術および技術の継承・発展、教育、人材育成のための活動

原子力・放射線の平和利用に関する学術・技術の継承・発展、成果の活用・普及に資する教育・人材育成が求められる。

=> 専門家育成だけでなく、児童・生徒・一般市民向け教育も含む



**AESJ**

日本原子力学会  
Atomic Energy Society of Japan

2015年秋の大会  
静岡大学静岡キャンパス

# 「教育」と「人材育成」(1)

- **教育 (Education)** : 対象となる人の知識、見識、能力、更には人格の向上のために行われる様々な働きかけ。本質的に終わりが無い。  
⇒ 学位、名称独占資格(例:技術士)等
- **人材育成(Human Resource Development)** : 特定の目的達成のために必要な力量を備えた人材を、教育活動を通じて、必要員数確保すること。ゴールがあり得る。  
⇒ 業務独占資格、必置資格(例:原子炉主任、放射線取扱主任、核燃料取扱主任等)



**AESJ**

日本原子力学会  
Atomic Energy Society of Japan

2015年秋の大会  
静岡大学静岡キャンパス

# 「教育」と「人材育成」(2)

## 教育

- ・知識、見識、能力、更には人格の向上のための活動
- ・学校教育、社会教育、家庭教育、市民教育・・・

特定目的のない  
純粋な人格向上

生涯教育（含継続研鑽）等、  
自己を磨く活動

特定目的のない  
純粋な自己啓発

## 人材育成

特定目的に必要な「要員」  
を必要な員数確保するための  
教育活動

採用や人事  
による要員  
候補の獲得  
活動

教育委員会の役割: 原子力・放射線人材育成、継続研鑽、市民のリテラシー向上に資する原子力・放射線教育活動の推進・支援



# 教育委員会のミッション・ステートメント

- 原子力および放射線の平和利用を進める学協会として、本会の事業目的 公衆の安全をすべてに優先させて、原子力および放射線の平和利用に関する学術および技術の進歩をはかり、その成果の活用と普及を進め、もって環境の保全と社会の発展に寄与する

に資する人材育成並びに原子力技術者・研究者の継続研鑽のための教育機会・コンテンツを提供する。また、目的を共有する諸機関による創設・作成を支援する。このため、以下のように活動する。

1. 初等中等教育、高等教育および市民教育に向け、原子力、放射線および関連領域での正確な知識の普及に努める。
2. 将来の原子力・放射線利用を支える技術者・研究者の育成のため、高等教育の充実を支援する。
3. 原子力安全を最優先する倫理の醸成、安全性向上技術を初めとする最新の科学的技術的知見の習得を含め、原子力・放射線技術者・研究者に、継続研鑽の機会を提供し、支援するとともに関連資格の取得を奨励する。
4. 進んで国際協力・連携に努め、優れた海外原子力教育資源の活用を図るとともに、新興国における原子力教育を支援する。
5. 活動の情報公開に努め、広く意見・批判を傾聴し、活動の継続的な改善を図る



# 教育委員会の体制と活動



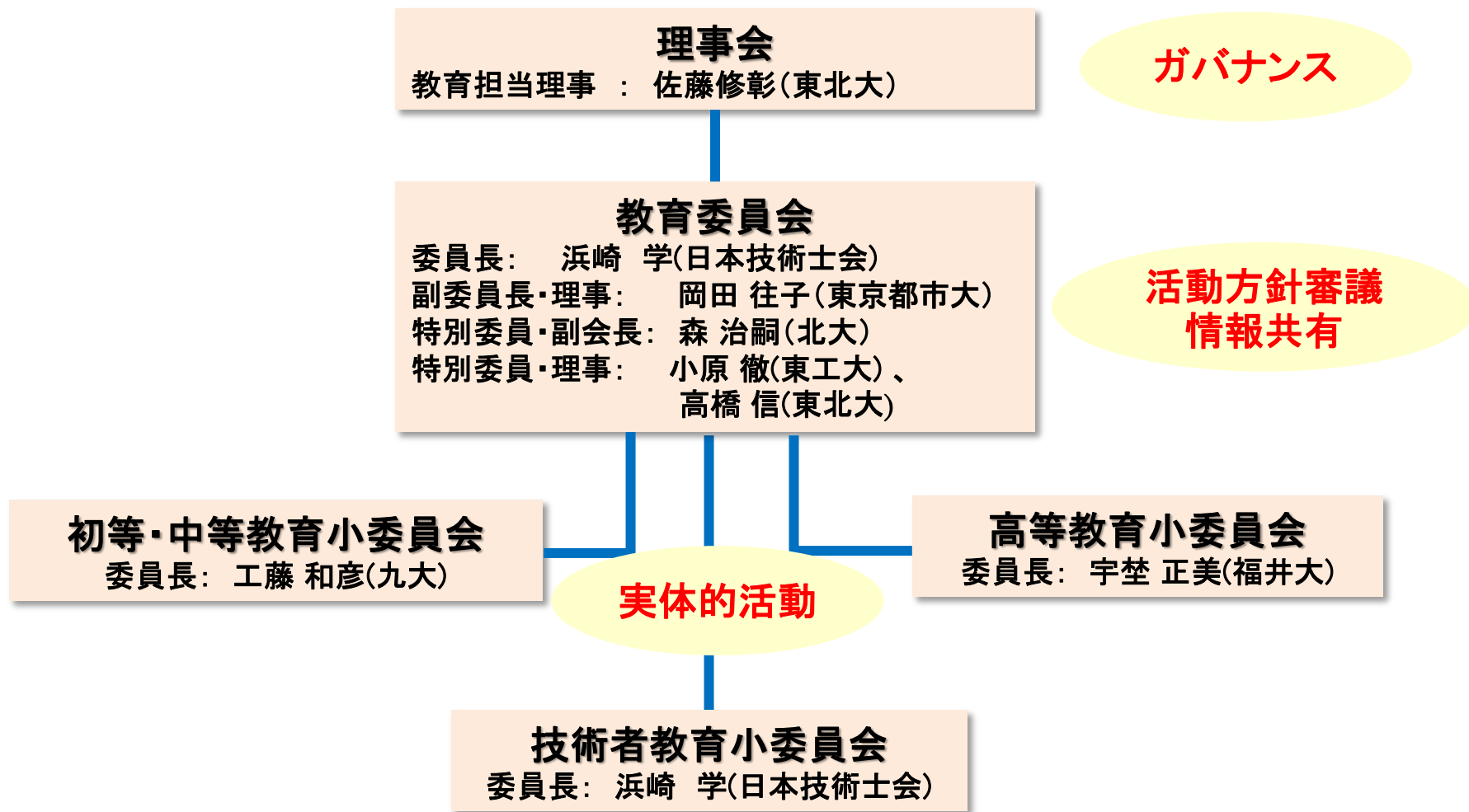
**AESJ**

日本原子力学会  
Atomic Energy Society of Japan

2015年秋の大会  
静岡大学静岡キャンパス



# H27 日本原子力学会 教育委員会体制



# ミッションを支える小委員会

(担当小委)

1. 初等中等、高等および市民教育に向け、原子力、放射線および関連領域での**正確な知識の普及**
2. 将来の原子力・放射線利用を支える技術者・研究者の育成のため、**高等教育の充実**。
3. 原子力・放射線技術者・研究者に、**継続研鑽の機会を提供、支援、関連資格の取得を奨励**
4. **優れた海外原子力教育資源の活用を図るとともに、新興国における原子力教育を支援**
5. 活動の**情報公開に努め、広く意見・批判を傾聴し、活動の継続的な改善を図る**

初等・中等／  
高等小委

高等小委

技術者小委

委員会大での  
強化が必要

・原子力・放射線特有の科学技術的側面に止まらず、技術倫理等人文社会的側面、機械・電気・土木・建築・化学工学等との学際的領域にわたる広範な分野を視野に入れることが必要。



# 福島第一原子力発電所事故の教訓



**AESJ** 日本原子力学会  
Atomic Energy Society of Japan

2015年秋の大会  
静岡大学静岡キャンパス

# 学会事故調の人材育成への提言(1)

## ① 原子力安全を最優先する価値観

原子力分野の人材の育成にあたっては、「原子力安全」を最優先する価値観の継続的向上を図るべきである。常に過信や慢心を排し、「学ぶ態度」および「問いかける姿勢」を根付かせ、その定着度合いを定期的に確認・評価する必要がある。また、原子力分野の職務には放射線防護などに原子力特有の安全知識と経験が必須であることを制度的に明確化し、必要な教育・訓練を徹底すべきである。

## ② 資格制度の充実

原子力分野の人材に必要な知識や技量が、資格制度を充実するなどにより明示的になるようにすべきである。具体的には、原子力発電所の緊急時対応を考慮した所長および運転責任者の資格要件の明確化、国家資格である原子炉主任技術者が平常時および事故時に責任を持った対応が出来るような役割の明確化、規制人材の専門性、国際性、および判断力の向上、などがあげられる。さらに、こうした能力やキャリアを獲得した人材が評価されるような組織運営を行って、組織員のインセンティブを高めることも重要である。



**AESJ**

日本原子力学会

Atomic Energy Society of Japan

Ref. <http://www.aesj.or.jp/jikocho/jikochohokoku20140308.pdf>

2014年秋大会  
静岡大学静岡キャンパス

# 学会事故調の人材育成への提言(2)

## ③ 大学における原子力教育・研究の重要性

高い技術力、マネジメント力が求められる原子力分野の人材を継続的に確保するために、大学における原子力教育の充実を図ることが重要である。同時に、大学での教育、研究人材の育成にも注力すべきである。最新の研究成果を取り入れて原子力安全を世界最高水準に維持するためには、研究レベルを最先端に保つことが必須であり、国、規制機関、産業界のそれぞれが安全研究へ積極的に関与することが望まれる。

## ④ 小中高校における原子力・放射線教育

人材の継続的な育成の観点から若い世代の原子力への関心を高めることが求められる。そのため、放射線教育を充実させることは急務である。原子力関係者は、小中高教員への原子力・放射線についての研修に協力するとともに、原子力への興味を高めるための情報発信をしていかなければならない。





# 本日のセッション

- 高校教科書の原子力関連記述に関する調査と提言  
…ミッション(1)
- 原子力教育カリキュラム標準化に関する国際動向  
…ミッション(2), (4)
- 日本原子力学会におけるCPDへの取り組み  
…ミッション(3)
- 文部科学省 放射線副読本を活用した検定制度の提案  
…ミッション(1)

活発なご意見・ご討論をお願いします…ミッション(5)

